

研究テーマ 医薬品の品質管理のための有機合成化学

所属 工学部

教授 阿部 仁

研究の背景及び目的

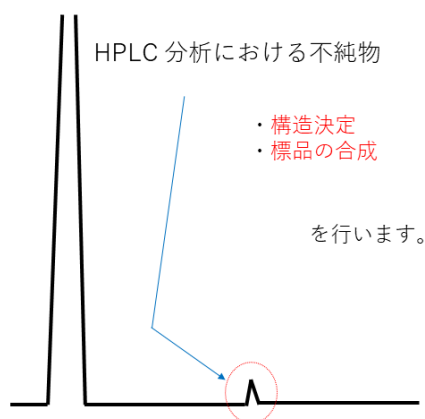
- 医薬品原薬中に微量に混入する類縁物質を標品として保有することは、品質管理上きわめて重要です。
- 様々な低分子有機化合物を化学合成し試料を提供することにより、高品質の医薬品製造に貢献します。



■ おもな研究内容



医薬品の中に、微量に混入する不純物は医薬品の品質に大きく影響を与えます。不純物の正体を明らかとし、それを標品として手元に持つことが、「品質管理」のためには必須です。



期待される効果・応用分野

- ★医薬品原薬の製造において、微量に含まれる不純物の管理が重要になります。
- ★構造不明の不純物の構造決定や、品質管理のためのサンプル合成を迅速に行います。
- ★有機化合物の効率の良い合成ルートを提案します。

⇒⇒ 原薬製造現場での類縁物質管理に貢献することができます。

■ 共同研究・特許など

- ◆企業内では実施しにくい反応条件の検討をします。
 - ◆医薬品原薬の類縁化合物の合成、サンプルを提供します。
 - ◆合成ルートの探索をします。
- 医薬品製造に関わる企業様との共同研究・受託研究が可能です。

研究分野	有機合成化学
キーワード	有機合成化学, 天然物合成, 不斉合成, 合成ルート開発

研究室URL : <http://www3.u-toyama.ac.jp/abe/index.html>